

◇行事報告◇

No. 23-48 JSME ジュニア会友 機械の日企画

「親子見学会 ～自動車の先進技術とモノづくりについて学び、将来を考えよう～」

部門企画委員会 網健行（関西大）、白木正浩（東京ガス）、町田栄治（日本原電）、
宮田学（デンソー）、小池上一（IHI）

将来を担うジュニア会友に、機械や工学、エネルギーに興味を持っていただくことを目的として、2023年8月8日（火）に、「自動車の先進技術とモノづくりについて学び、将来を考えよう」をテーマに夏休み親子見学会を開催しました。今年は、2019年に続き、2回目の東海地区での実施となり、デンソー高棚製作所（安城市）とデンソーギャラリー（刈谷市）を訪問しました。当日は、晴天の下、ジュニア会友の小学生6名と保護者の方々5名の合計11名にご参加いただきました。

JR 三河安城駅に集合後、貸切バスで自動車用のメータやセンサーを製作しているデンソー高棚製作所に移動しました。この製作所では、1日に8,000台のメータを量産している501工場の最終組立ラインを見学しながら、メータの変遷の歴史、組立工程、最新技術などを学びました。子供たちは、工場の中を自動部品運搬車（AGV）が無人で動く仕組みや工員さんの帽子のつばの色が異なる理由など、興味は尽きない様子でした。見学の中では、ヘッドアップディスプレイでフロントガラスに映された表示や目をつぶると「休憩を取りましょう」とドライバーステータスマニターがアナウンスしてくれることも体験できました。メータの生産において、検査の項目が150以上もあることを聴いて、「少しの不良も見逃さない検査員にはどうすればなれますか」との質問もあり、モノづくりも印象に残ったものと思います。

次に、貸切バスで移動後、デンソー本社内にあるデンソーギャラリーを見学しました。自動車の安全、環境、快適・利便に関わる最先端の製品や技術の展示が多くありました。ガソリンエンジン制御システムやヒートポンプシステムなど子供たちにとっては少し難しいものもありましたが、エネルギーマネジメントシミュレータやディスプレイメータ搭載コックピットなど、実際に操作して体験できるものは特に人気がありました。また、1950年頃に製作したことのある電気自動車の再現プロジェクトの紹介もあり、その当時の手書きの古い図面を足掛かりに2009年に再現された電気自動車が展示されていました。70年以上も前にすでに電気自動車があったことに子供たちも保護者の方も驚いていました。

参加していただいた子供たちには、見学会を題材にした自由研究作品の応募をお願いしました。優秀作品は、日本機械学会ホームページで紹介する予定ですので、是非ご覧ください。

最後に今回の見学会で大変お世話になりました株式会社デンソー 高棚製作所、デンソーギャラリーの方々に感謝申し上げます。また、猛暑の中、熱心に見学いただいた参加者の皆様に感謝いたします。



デンソー高棚製作所



デンソーギャラリー